

An aerial photograph of Enayama Village, showing a patchwork of green and yellow agricultural fields, small clusters of houses, and a road winding through the landscape. In the background, rolling hills are visible under a clear blue sky with a bright sun in the upper left corner.

NEXT Gifu 岐阜未来遺産 HERITAGE

恵那岩村

山城・城下町と農村景観めぐり

岐阜未来遺産「恵那岩村の山城・城下町と農村景観めぐり」地域密着プロモーターの募集！

恵那市では現在、令和7年～8年度にかけて活動可能なフリーランス型の地域おこし協力隊を企画募集しています。カジュアル面談やおためしプログラム、インターンを通して、確認し合いながら、本エントリーへ応募いただける方を関係者一同お待ちしております。

✧ はじめまして 岐阜県 恵那市 岩村町

日本の真ん中に位置する岐阜県は、「岐阜は木の国、山の国」と言われるように、面積のおよそ8割を森林が占める、緑豊かなところです。そんな岐阜県の南東に位置する恵那市は、人口約5万人。映画館こそありませんが、市街地には必要な商業施設が一通りそろっています。

今回募集の活動地域「岩村町」は人口約4,600人。全体的に山に囲まれ標高300mから600mのなだらかな盆地にあります。町内に国道257号線、国道363号線が走っており、市の中心市街地からは車で20分ほどで行くことができます。また恵那駅から明智駅を結ぶ明知鉄道の駅も3駅あります。診療所や歯科医院、ショッピングセンター、ホームセンター、飲食店などの暮らしに必要な施設も町内にあり、利便性にも優れています。

岩村町は800年余りの歴史を持つ岩村城の城下町として発展した町です。全長約1.3kmの古い町並み周辺には当時の面影を残す商家や旧家、なまこ壁などが今も佇んでいます。平成10年4月17日には、全国で48番目、岐阜では高山市三町・白川村荻町に続いて3番目に「重要伝統的建造物群保存地区」として選定されました。その街並みを見下ろせる場所には、岩村城跡があります。岩村城は、大和の高取城(奈良県)備中の松山城(岡山県)と並ぶ日本三大山城の一つに数えられる名城であり、現在も城址には石垣が残り、日本百名城にも選ばれています。

町のもう一つの特徴として、「農村景観日本一」の富田地区があります。この称号は、平成元年に全国の環境問題を専門に研究している、京都教育大学・木村教授から頂き、マスコミが一斉に報道し一躍脚光を浴びたものです。ここに佇めば、春夏秋冬・朝な夕な・日本が戦後失ってしまった「心のふるさと」、そして古代・仁徳天皇が見た“カマドの煙”の景色をも彷彿と感じとることが出来ます。

郷土の先人として佐藤一斎、下田歌子、三好学といった多くの偉人を輩出しており、その教えは現在にもこの地に息づいています。

Strengths

恵那市の制度運用 今回の募集企画の 魅力！

- ① 恵那市は13の地域自治区があり、希望する地域ごとに地域おこし協力隊員を募集しています。地域では、課題や推していきたい事業、地域力アップに活用できる資源を洗い出し、地域協議において地域おこし協力隊と一緒に取り組みたいテーマとミッションを抽出しています。
- ② 地域おこし協力隊の身分と待遇は、会計年度任用職員ではなく、市と雇用関係のない「フリーランス型」です。自由度が高い分、自己責任部分も多いと言えます。市は隊員として委嘱し、隊員個人と契約。契約は、地域ごとに設けられているミッションに取り組む履行型の委任契約を行い、稼ぐ地域と隊員自身の生業づくり、定住定着に向けた基盤づくりに必要な協働、支援に力を入れています。
- ③ 恵那市では令和5年度から協力隊運用の再構築を岐阜県地域おこし協力隊ネットワーク（県内の協力隊OBOG組織）と協働して行ってきました。行政・地域・隊員・第三者の多様で幅広い視野を盛り込むことが可能な協働体制をつくっています。
- ④ まだ実施している市町村が少ない、おためし協力隊やインターン制度を実施し、現地での募集ミッションの説明・業務体験並びに地域関係者や協力隊OBOGとの意見交換を通し、暮らしと仕事のイメージをしっかりと持ち、良いスタートが切れるよう確認し合える機会を多く設けています。

＋ 詳 細 ＋ 今回の募集 テーマ・ミッション について

今回の募集の背景には、岩村町の観光推進で長年の大きな課題である「滞在時間の短さ」＋「高齢化による観光関連事業所の魅力不足」があります。これらの課題に対して、滞在時間延長に向けた取り組みや、インバウンド対応、PR、そして地域住民の生活と観光客のニーズを両立させるための対策をできる限りしてきました。そんな甲斐もあり、令和5年には世界から選ばれる持続可能な観光地づくりを目指すプログラム「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」の第1号として『恵那岩村の山城・城下町と農村景観めぐり』が、岐阜県から認定を受けました。

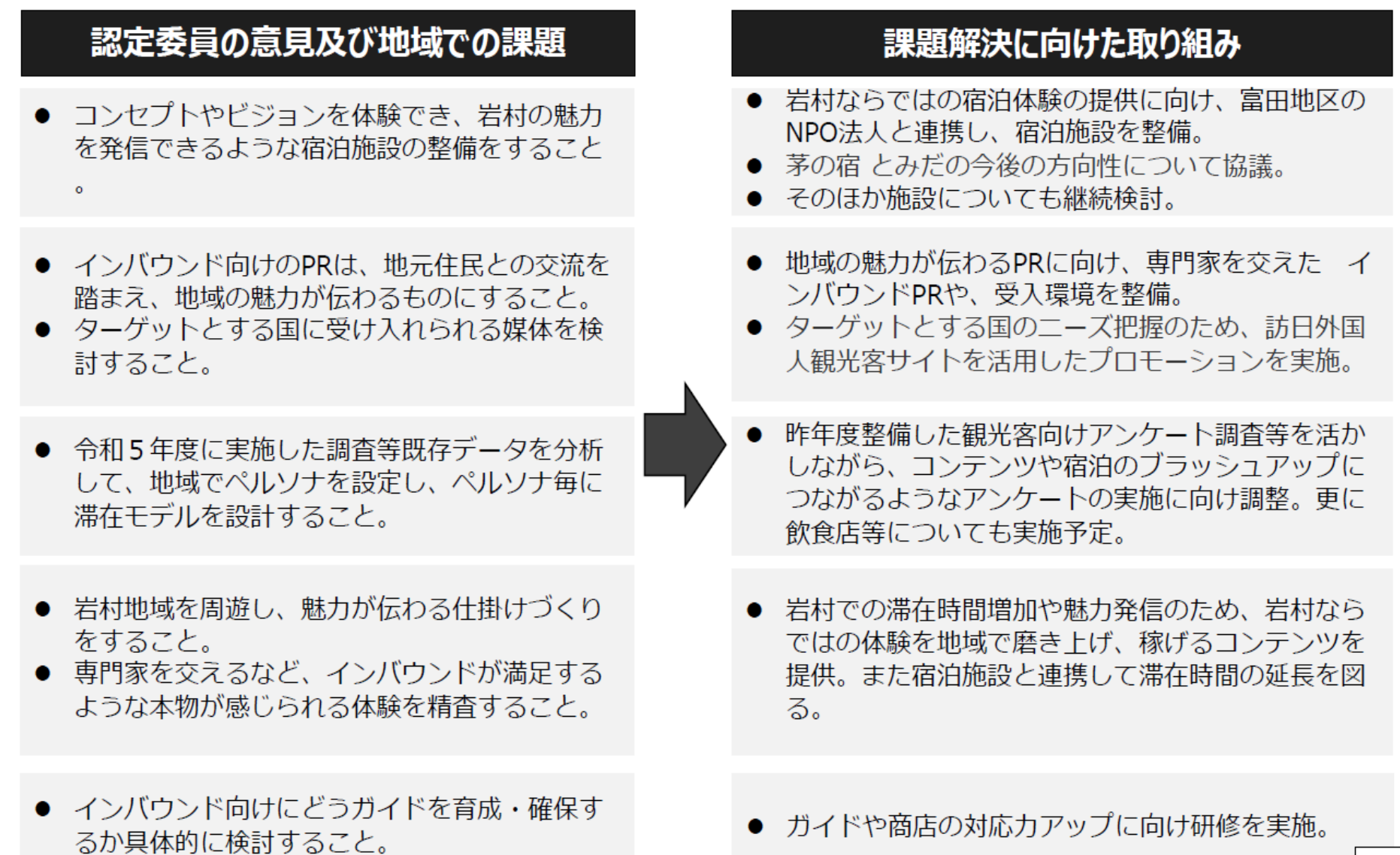
https://www.kankou-gifu.jp/article/detail_205.html

岩村町としては、さらに「持続可能な観光の町」になるため『社会』『経済』『環境』のバランスの取れた観光を意識・定着させていく取り組みを展開している段階です。国内外へのプロモーション等も県とともに重点的に行っています。

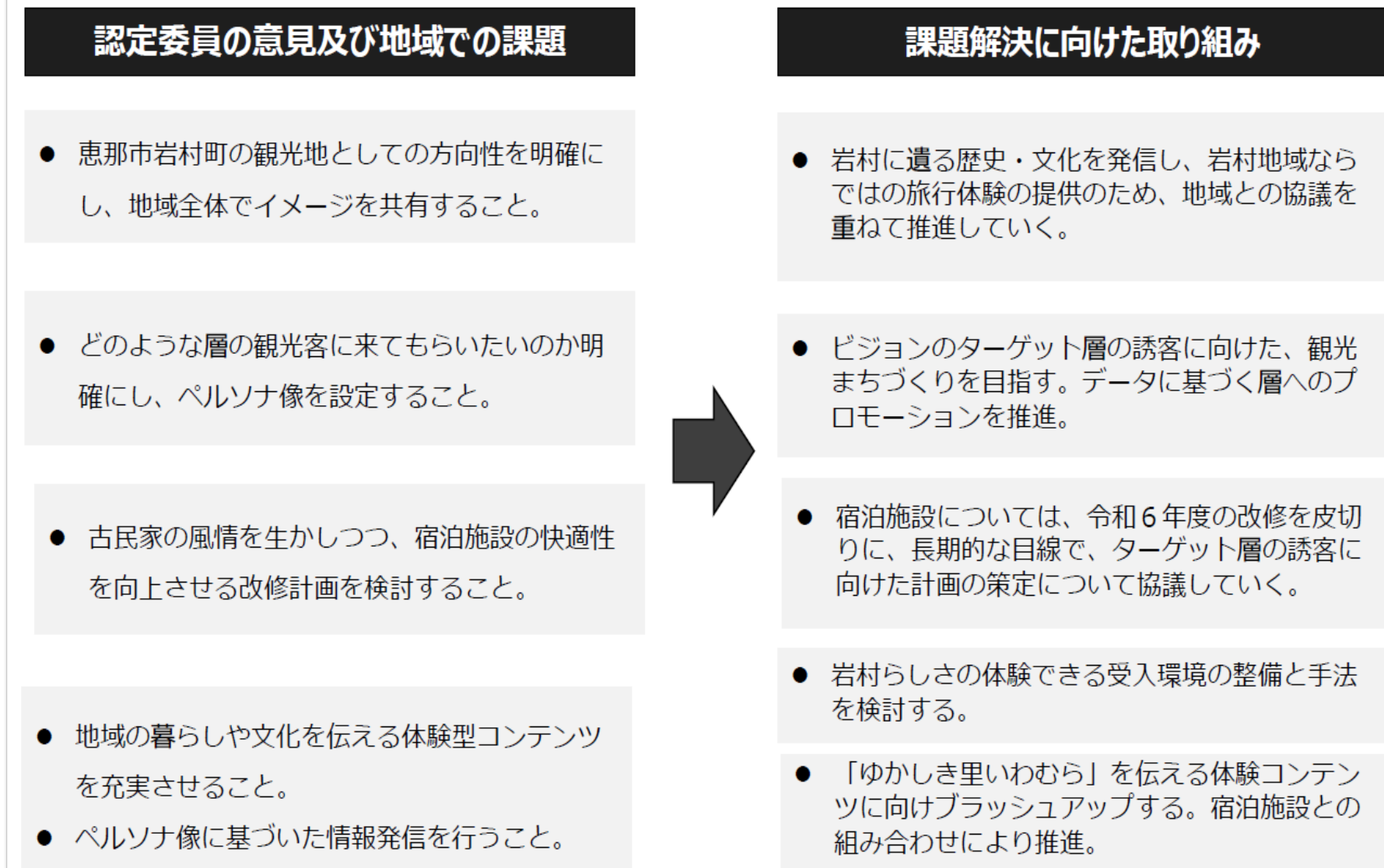
【重点的施策】

- ・観光コンテンツの造成
- ・拠点宿泊施設や地域内環境の整備
- ・データマーケティング
- ・ガイド育成
- ・多言語化対策

令和6年度事業計画



令和7年度事業計画



このような動きの中で、さらに課題となっているのは、今までの取り組みは総花的であり、真に必要な事業を精査し注力していく段階に来ている点です。

町全体のビジョンは、「『ゆかしき里いわむら』で暮らすように学び、旅をする」というもの。しかし現状では、このビジョンや岩村というブランドを浸透させ、ターゲットである国内の知的好奇心が高い層、欧米圏の質の高い本物志向の層に向けて訴求する取り組みが出来ていません。滞在モデルの提示、現地での具体的な対応方法も十分に整備されておらず、その脆弱さが浮き彫りになっています。

それらを踏まえて、ターゲット層の滞在クオリティをどのように上げていくかを検討したところ、ターゲット層に響くような企画・運営・集客を手掛ける専門性をもった人材が必用だという結論から、今回の募集に至りました。

【活動イメージ】

- 1, まずは岩村の現状と磨き切れていない資源を知る(リサーチ)
- 2, プロモーターとして関係者と一緒に「世に広めたいもの」を見つけ、磨く
- 3, 地域内の認識も含め、世に広めるための効果的なプロモーションを展開
- 4, 地域が自信と安定性をもって紹介でき、受け入れ、売れる状態にする
- 5, そのサイクルから、持続的に未来遺産を保存・保全・活用、稼げる地域と隊員になる

上記のようなプロセスと結果と一緒につくるチャレンジをしよう！というのが狙いです。

このような経緯と状態、狙いを知って頂いた中で、あなたの思いや得意な観光やプロモーションスキルを存分に発揮できる領域と環境をお聞きして、すり合わせ、掛け合わせながら一緒に切磋琢磨することから始めたいのです。



活動テーマ

岐阜未来遺産認定された岩村の資源を地域とともに磨き、国内外に広める仕事です。

地域が求める人物

「企画力」「コミュニケーション能力」「現場力」「プロモーション力」
をお持ちの方、協力隊活動を通して伸ばせる方！

一緒にやりたい活動プロセスと出したい結果、成果

- ①まずは、岩村町の名所や施設、体験できることに関する情報をインプット
- ②今までのマーケティング調査データや現場ヒアリングから現状を正確に把握
- ③変えたいものとそうでないものを踏まえた協議とともに企画提案
- ④関係したい人（呼び込みたい人）の設定と共有、そこに向けたプロモーション
- ⑤地域内外の満足度を高めるための調整や企画のブラッシュアップ
- ⑥取り組む優先順位を地域関係者と協議して実施するサイクルを回しながら任期後における隊員自身と関係者の望む姿へ到達（プロモーター、ランドオペレーター）



【パートナー団体の紹介】



**NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～
農村巡り拠点「茅の宿とみだ」再生メンバー**



**NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～
山城・城下町の盛り上げ拠点「いわむらゲストハウスやなぎ屋」**



【パートナー団体の紹介】

恵那市行政及び関連団体

① 地域おこし協力隊制度運用及び事業管理

② 岩村町での業務（活動）管理や関係者との調整

③ 岩村町の観光に関する情報収集拠点および活動連携



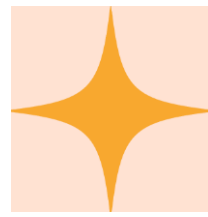
① 恵那市地域振興課移住定住推進室



② 恵那市岩村振興事務所



③ 恵那市観光協会（岩村支部）



【NEXT G I F U H E R I T A G E ～岐阜未来遺産～ 地域資源の紹介】



岩村城下町メインストリート



岩村城跡



農村景観日本一の冬景色



幕末の儒学者「佐藤一斎」と太鼓櫓



美濃国岩村城下町略図



地酒と郷土食

＋要確認＋ 業務環境 応募条件

募集人数：1名

応募条件：この募集は「地域おこし協力隊」制度を活用するため
下記における条件および地域要件を全て満たす人が対象になります。

雇用関係：なし
恵那市長が地域おこし協力隊員として委嘱します。
恵那市地域おこし協力隊設置要綱、仕様書に基づき業務委託契約を行います。

契約期間

委嘱日から年度末まで
年度ごとの委嘱、契約更新で、最長**3**年まで（委嘱日はご相談に応じます）
更新の有無は市による事業評価により決定いたします。
市が協力隊としてふさわしくないと判断した場合は、任用期間中であっても
解嘱できるものとします。

業務時間

1ヶ月当たり**135**時間、1カ月あたり**20**日を目安に活動をする仕様で人件費及び
活動費を積算してあります。業務内容等により活動時間の調整可

活動場所

恵那市内および岩村地域（ただし、研修等により市外へ出張する場合あり）
事務スペースやデスクは市や地域関係者が提供する場所も一定のルールに基づ
き使用することができます。

委託費用

人件費：月額上限 **275,000**円 ※消 費 税 込

活動費：月額 **125,000**円 ※消 費 税 込

月ごとの履行による請求、市の確認により適切と認めたものを委託契約の範囲内で支払
います。詳細は仕様書を確認ください

活動報告

毎月1回活動報告書を取りまとめ、市へ進捗状況等を報告していただきます。また、
地域振興事務所や活動パートナーの担当者と連携を図り、2週に1回程度、隊員の活動
等に関する意見交換等を行います。

兼業 副業

地域おこし協力隊の活動＝委託業務に支障のない範囲で可能です。内容についてはあ
らかじめ発注者である市と協議をして確認を得てください。副業 兼業に従事する時
間は、地域協力活動に従事する時間に参入することはできません。また、恵那市地域
おこし協力隊としての信用を傷つけたり、市全体の不名誉とならぬよう細心注意をは
らってください。

住居

賃貸住宅等を隊員自身で契約していただきます。市が一部家賃を活動費として支出し
ます。

※駐車場代及び管理費 共益費等、住宅に付帯する費用も含めることができますが、
敷金 礼金 光熱費等については隊員の自己負担となります。上限あり

その他の支援制度

隊員の希望、市での活動評価をもとに、条件を満たした場合は下記の支援メニューを
利用できます。

①地域おこし協力隊起業支援金、任期終了後の定住するための空き家改修費用

②恵那市移住定住推進事業、商工振興補助金

③岐阜県地域おこし協力隊ネットワークによる日々のサポート、活動・起業相談

✦ Welcome ✦

お問い合わせ及び 申し込み方法

恵那市まちづくり企画部地域振興課
移住定住推進室担当：荒川

〒509-7292

岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地|本庁舎3階

TEL : 0573-26-2111

mail : enagurashi@city.ena.lg.jp

恵那市【公式】WEBサイト



個別相談、おためし・インターンの
希望、お待ちしております！

<https://kurashi.enalifebizsupport.jp/volunteer/>